

授業科目 NO. 602 看護情報の検索と活用

Introduction to Evidence-based Nursing

授業の形態： 講義

単位数（時間数）： 1単位（15時間）

開講年次・学期： 2年次・後期

必修・選択の別： 必修

キーワード： 情報検索、情報の質、意思決定支援、メディアリテラシー、情報リテラシー、ヘルスリテラシー、テレナーシング、EBN、文献検索、個人情報保護

1 金沢医科大学看護学部の到達目標（全科目共通です）

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② **看護学の知識と技術、及び実践力**
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

2 学習目標

1) 一般目標（GIO）

看護実践において情報がどのように活用されているのか、看護に情報を活用する知識・技術、ならびに活用時の倫理的な側面を理解する。また、エビデンスに基づく看護（EBN: Evidence Based Nursing）を実践する能力を修得するために、EBN とそのプロセスを理解し、問題の定式化、情報の検索・収集、情報の批判的吟味のステップを実施する。

2) 行動目標（SBO）※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部の到達目標との関連を示す。

- (1) 情報の意味と特徴について説明できる。(②)
- (2) 情報の質を確認することができる。(②)
- (3) 医療情報システム（EMR,HER,PHR）の種類と特徴を述べるができる。(②)
- (4) 意思決定支援のための意思決定モデル、コミュニケーションの特徴を述べるができる。(②)
- (5) 医療分野への ICT 活用の実際として、テレナーシングの実際について知る。(②③)
- (6) 看護実践において活用できる情報の種類、それぞれの情報源の特徴、活用時の留意事項を述べるができる。(②)
- (7) メディアリテラシー、情報リテラシーとヘルスリテラシーについて述べるができる。(①)
- (8) EBN とそのプロセス、看護に活用できる情報の検索方法・入手方法について理解し、検索データベースやインターネット等を用いて、看護実践に役立つ情報を検索できる。(②)
- (9) 情報化社会における看護職の役割を考えることができる。(②)
- (10) 看護における個人情報の取り扱い、責務を述べることができる。(①)

3 学 習 内 容

授業の内容については、授業計画に示す。

4 評 価

評価項目	評価割合
定期試験成績	70%
実習成績	%
レポート	30%
授業態度	%
小テスト	%
その他	%
合計	100%

(特記事項)

5 教 育 担 当 者

科目責任者：前田 修子

教 授 前田 修子（在宅看護学）

6 教 科 書

中山和弘：看護情報学 第2版（系統看護学講座）、医学書院、2017

7 推 薦 参 考 書

授業時に紹介します。

8 準備学習に必要な時間及び具体的な学修内容

授業1コマにつき、事前学習・事後学習として計180分程度必要です。

- 1) 電子シラバスに、事前・事後に必要なレポートが掲載してあります。
- 2) 各授業の資料に、教科書の該当ページを記載してあります。事前・事後学習に活用ください。
- 3) 各授業の資料に、該当授業内容に関連した行動目標を記載してあります。授業後に到達できるように、事後学習に活用ください。

9 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

- 1) レポートは、解答例を授業時に紹介することにより、フィードバックを行います。
- 2) レポート課題提示日および提出日は、授業の進行状況に応じて、前後する場合があります。その場合には、授業時に説明するとともに、電子シラバスには記載しますので確認ください。

10 履修上の注意事項

- 1) 本科目は、3年生の「看護研究の基本」、4年生の「看護研究」に関連が強い科目です。授業資料などを保管し活用していくと便利です。
- 2) 期日を過ぎたレポートは、原則、受け取りません。やむを得ない事情は、提出前に申し出てください。
- 3) 電子シラバス上の提出は、機器トラブルなどに備え、早めの提出を心がけましょう。
- 4) 授業の進行速度、難易度、他教科との重複など、授業内容・方法に関して要望や気付いた点がある場合授業後の感想カードや携帯ネットを活用しお知らせください。なるべく反映できるように配慮します。
- 5) 授業中にやむを得ず入退出する場合は、あらかじめ教員に申し出ておきましょう。
- 6) 授業中にインターネット情報を検索する場合に、スマートフォンやタブレットを活用することがあります。

11 オフィスアワー等

随時に訪問可能。但し、事前に連絡をいただくと調整しやすいです。

メール mshuko@kanazawa-med.ac.jp もしくは携帯ネットで連絡ください。

第2学年

看護情報の検索と活用

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	レポート/小テスト等	講座・科目群名	教員名
後	0.5	11月29日(水)	2	講義 演習	【ガイダンス】シラバスの解説 看護情報学を学ぶ必要性 【演習】動画視聴予定		在宅看護学	前田教授
後	1.5	12月06日(水)	2	講義 演習	【講義】情報化社会における情報リテラシー、医療における情報、医療情報の電子化、SDM 【演習】マイナンバーカード、電子処方など身近な医療情報の電子化について考える		在宅看護学	前田教授
後	2.5	12月13日(水)	2	講義 演習	【講義】第2回つづき、インターネット上の情報の探し方・情報の信頼性 【演習】意思決定を助けるツールを体験する	レポート(予定) インターネット上の情報の探し方・情報の信頼性(10点)	在宅看護学	前田教授
後	3.5	12月20日(水)	2	演習	【講義】EBNのプロセス、医療分野へのICT活用の実例、遠隔医療、テレナーシング		在宅看護学	前田教授
後	4.5	1月10日(水)	2	演習	【演習】文献検索演習(1)医学中央雑誌WEB, CiNii, Google scholar		在宅看護学	前田教授
後	5.5	1月17日(水)	2	講義	【講義】ファクトチェック, 看護記録における情報の取り扱いと留意事項, 個人情報の保護		在宅看護学	前田教授
後	6.5	1月24日(水)	3	講義 演習	【講義・演習】文献とその種類, 文献整理 文献の読み方	レポート(予定) 文献検索演習のまとめ(10点)	在宅看護学	前田教授
後	7.5	1月31日(水)	2	演習	【演習】文献検索演習(2) Pub Med, Medical Finder、ネット情報の活用、辞書調べ、Google検索	レポート(予定) 文献検索演習のまとめ(10点)	在宅看護学	前田教授